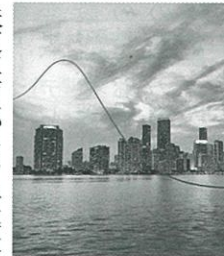


山下工業所、脱炭素化経営でSBT取得 温室効果ガス、30年までに42%削減



WE'VE SET A SCIENCE-BASED TARGET



SBTのロゴ

鉄道車両部品や半導体装置の部品製造などの山下工業所(下松市東海岸通り1-27、資本金2,000万円、山下童登社長)は、温室効果ガス削減に向けた中小企業版「SBT」の認定を取得した。SBTは、パリ協定の水準に整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標。同社では、取引先の要望もあって、CO₂削減など環境対

策に積極的に取り組んでいる。昨年には、CO₂削減ロードマップを策定して、CO₂排出量を見える化。高効率な設備への更新、運用改善などでCO₂排出量削減の成果をあげている。

今後、太陽光発電システムで発電した電気を自家消費する方針。温室効果ガス削減では、2030年までに22年度比で42%削減の目標を掲げている。

SBTは、ワイエムコンサルティングの支援を通じて取得。山下社長は、「脱炭素化への対応は中小企業にとって不可避。CO₂削減ロードマップの策定によって、CO₂排出量が算定できたのは大きな成果」とし、「取引先の日立グループ各社に安心して取引していただける会社として、これからも脱炭素化を進めていく」と話している。

トクヤマと、荏原グループが実証焚収冷温水機で、水素利活用

(株)トクヤマ(周南市、横田浩社長)と荏原製作所、グループ会社の荏原冷熱システム(株)(本社・東京都)は、水素焚収冷温水機(RHDH型)を用いた実証試験を共同で行っている。各社の得意分野を活かした水素利活用モデルの

お客様満足の未来形

「感動創造企業」をめざします

Samansa Japan

サマンサジャパン株式会社

本社 〒745-0845 周南市河東町2-36 Phone (0834) 32-1188 FAX (0834) 31-5956

構築が狙い。同試験に関し、覚書を締結した。

荏原グループが、昨年開発した水素をエネルギー源にする同冷温水機をトクヤマ文化体育館に設置。

トクヤマが供給する水素で、実負荷における長期連続運転の信頼性と実用性を評価する。

RHDH型は、各種新技術を搭載し、水素利用によるCO₂排出量削減だけでなく、消費エネルギーの削減を実現。冷媒にはオゾン層破壊係数ゼロで、燃焼性や毒性もない水を使用している。

今実証試験でトクヤマは、多様な用途に向けた新たな水素の需要を開拓する。

下松・周南・光で
最大級のショールーム

- 増改築 ●店舗リフォーム
- マンションリフォーム

お家のことならなんでも！ご相談ください。

夢・感動・リフォームパートナー

サン・リフォーム

http://www.sunreform.net/ ☎0800-200-1173
下松市美里町2-2-7 TEL.0833-43-4300 FAX.0833-48-3800